



ステージデビューした杉下さん(左)と、相棒の小平さん(右)。中央は演奏を見守る「師匠」の宮田さん

# ドラム始めた70代 自宅庭でデビュー

安曇野の杉下さん 相棒の小平さんと

「70の手習い」で始めたドラム。安曇野市穂高有明の杉下勝彦さん(75)は9月、妻と始めた自宅でのガーデンコンサートの幕あいに演奏デビューし、約40人の観客から大きな拍手が送られた。

安曇野市を中心に活動する平均年齢66歳の男女7人バンド「シルバー・バックス」のコンサート。その休憩時間中に、杉下さんは相棒でギターの小平幸男

さん(72、穂高)とステージに登場。シルバー・バックスを助つるに「思い出の渚」など4曲を披露した。

シルバー・バックスの演奏を聴き「俺も」と思い立ち、同バンドのドラム、宮田伸二さ

さん(70)に2月に弟子入り。小平さんと一緒に宮田さんの自宅で月数回のペースで練習を重ねてきた。「最初にしては上出来。これからメンバーを募つて音楽の輪を広げたい」

(浜秋彦)